入学試験実施委員会

1．入試業務全般に関わる事項

本年度は新人文社会科学部、3 学科体制の下で 3 年目の入試となった。前年度の経験をふまえて、限られた教員数の中で、事務方と協議を重ねてルーティン作業のマニュアル化と合理化、効率化を追求しながらミスのないよう入試実施業務に望んだ結果、いずれの業務においても入試ミスは発生しなかった。

本委員会の業務は、大きくは二つに分けられ、一つは、試験当日の業務である。当日の業務は、事前に策定された実施計画に基づいて、マニュアル通りに着実に実行することができた。もう一つは、各種入試前の準備作業と、入試後の合格手続き完了までの一連の作業である。

本年度は一般入試でインターネット出願を行った 2 年目であったが、IT 化を行ったがゆえにかえって柔軟な対応が不可能になったようなケースも見られ、インターネット出願の導入等による作業効率化、入試実施業務の労力削減は今後に残された課題である。

2．各種入学試験の実施について

（1）3 年次編入学試験について。

新カリキュラムの学年進行にともない 2018 年度から 3 年次編入の募集は停止となったので、編入試験は実施されなかった。

（2）推薦入学試験について。

現代社会学科、法律経済学科、人間文化学科の 3 学科体制で、11 月 24 日（土）に試験を実施した。当該入試については、平成 20 年度以降、本委員会が準備段階から担当しているが、面接・採点の要領作成等については入学試験企画委員会が担当している。そのため今回も両委員会で十分な連携体制を整え役割分担を再確認して業務を実施した。

ただし入試実施業務に必要な教員数を確保することが難しくなってきているにもかかわらず、アドミッションセンター側より一面接室あたりの面接員数をさらに増員することが求められており、さらに厳しい運営が求められているようである。

（3）大学入試センター試験について。

1 月 19 日（土）と 20 日（日）の 2 日間にわたり実施した。大きな事故、混乱もなく、ミスも発生させることなく、業務完了した。

（4）私費外国人留学生試験について。

現代社会学科、法律経済学科、人間文化学科の 3 学科にそれぞれ志願者がおり、2 月 12 日（火）に試験を実施した。

（5）一般入試前期日程について。

2 月 25 日（土）に、現代社会学科、法律経済学科、人間文化学科の志願者に対して実施

した。

（6）帰国子女特別選抜入学試験について。1 名の志願者がおり、2 月 25 日（月）に実施した。

（7）一般入試後期日程について。

3 月 12 日（火）に、現代社会学科、法律経済学科、人間文化学科の志願者に対して実施した。

（8）合格者発表準備等の、入試実施後の一連の作業について。

後期日程入試日の翌日の後期欠席者リストの確認作業に始まり、後期合格者判定資料確認作業、後期合格通知発送準備作業、等の一連の作業が 3 月末まで続き、本年度の入試実施委員会の作業は、最終的に新年度の 4 月 9 日（火）の合格者等データチェックリスト確認作業で終了した。

平成 30 年度入学試験実施委員会副委員長：中田潤